

議事録

【会議名称】令和7年度 第3回朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議

【日時】令和8年3月2日（月）15:30～17:00

【会場】和光市総合福祉会館3階 第2会議室

【出席者】別紙参照

【議題】（1）令和8年度 事業計画案について
（2）令和8年度 委員構成の変更について
（3）その他

議題（1）令和8年度 事業計画案について

事務局菅田・高田より、令和8年度朝霞地区在宅医療・介護連携推進事業計画について説明。

【委員より各職能団体での令和8年度の取り組みについて紹介】

■朝霞市 長寿はつらつ課

医療・介護の専門職で発足した ACP ワーキンググループにて作成したリーフレットを用い、お届け講座やミニ講座を開催しながら地域への普及を進めていく。地域ケアカフェや医療機関との座談会も継続し、多職種連携や退院支援の強化を図り、市民の理解促進にもつなげていく。

■志木市 長寿応援課

在宅医療・介護連携代表者会議を年3回開催し、ワーキンググループも実施している。令和8年度も医療・介護フェスタを11月に開催予定で、ACPの普及啓発も強化していく方針。支援者向け研修はケアカフェしきを引き続き開催予定。市民調査結果も踏まえ、課題を整理し重点的な取組を検討する。

■和光市役所 長寿あんしん課

今年度は地区社協と地域包括支援センター、ケアマネ向けにACP研修を実施した。令和8年度もACP研修を企画して進める。併せてケアカフェお茶会の開催や、埼玉病院で行われる地域多職種連携会の周知を行う。

■新座市役所 介護保険課

支援室の相談支援を強化し、市としても協働で進める。医介連携事業が増えているため、地域で自走できる仕組みを整備する。ACP普及啓発は包括・WG・各病院で進行中。調査やアンケート、KDBで抽出された課題を踏まえ具体的な施策や取組を検討する。介護予防ガイドブックも市民目線で作成する。

■本多副代表（居宅介護支援事業所山吹）

新座ケアネットワークで事例検討を行い、障害者が65歳になると介護保険優先となる課題やサービス併用の問題を整理し、スムーズな支援提供を目指す研修を開催する。3月9日に開催される、議長浅井医師の高齢者てんかんウェブセミナーについても紹介。

■出浦医師（でうら医院）

朝霞・新座に設置していた在宅歯科医療推進窓口は、新座窓口を閉鎖。今後の発展的な活動について検討をしていく。障害や福祉が絡むと対応が非常に困難となる現状があり、今後の課題として捉え、対応の在り方について引き続き検討していく。

■大谷地委員（コスモファーマシー）

薬剤師会として在宅での麻薬管理や緊急対応の体制を整備する。かくの木薬局を中心に新座市でグループ化を進め、朝霞市も含めた対応体制を検討しつつ、令和 8 年度中に実施を進める。

■上島委員（新座志木中央総合病院）

ケアカフェを継続開催し、研修や症例検討を通じて医療・介護の連携を強化する。ケアマネとの合同勉強会や ACP 研修も引き続き開催し、顔の見える関係を構築していく。

■森田委員（TMG 宗岡中央病院）

理学療法士会として地域ケア会議への参加や介護予防事業に関わる人材育成を進める。病院内でも ACP 研修を実施し、理解が不十分なスタッフへの教育を広げ、地域連携活動を強化する。

■北村委員（TMG あさか医療センター）

作業療法士協会としても、地域ケア会議にて活躍できる人材育成をするとともに、地域の介護予防事業にも尽力していく。複数病院と連携し、包括的に多職種が介護予防事業に携われるよう進めていく。

■山口委員（NPO 法人 ぽけっとステーション）

来年度より地区 4 市すべての市委託の栄養事業に関わる予定。栄養士会として地域連携を強化し、MCS 等で情報共有を行う。各団体代表者と課題を共有し、医療・介護連携の取り組み状況を把握しつつ、可能性を広げる活動を進める。

■恩田委員（埼玉県歯科衛生士会 朝霞支部）

母子事業は対象者が減少する中、高齢者事業は依頼が増えている。高齢者受向けの介護予防活動を引き続き支援し、医療・介護連携を維持する。

■中尾委員（社会福祉法人和光福祉会 特別養護老人ホーム和光苑）

高齢者福祉施設として介護人材不足や離職率の課題に対応する。施設内で医療機関と協力し、看取り介護やケアの質向上に取り組み、安定した運営体制を確保する。

■稲垣委員（西部高齢者相談センター）

新座市 ACP ワーキンググループにて開催している市民向け講座において相談窓口として協力するとともに、センター独自でも老人会や高齢者サロン等での出張 ACP ミニ講座を開催していく。MCS では患者グループの利用を増やし、より活用を深めていく方針。

■辻委員（高齢者あんしん相談センター せせらぎ）

市民への ACP 普及を進め、市民が参加しやすいように地区ごとの研修を計画する。医療・介護フェスタ等は規模感にこだわらず各地域で実施するなど、参加しやすい開催方法を検討していく。

■杉浦委員（地域包括支援センター つつじの郷）

「がんと向きあう暮らしのガイド」について、今後需要が増えていくと思うので普及していきたい。今年度開院した黒目川診療所に協力を得て、介護予防講座・市民講座などを開催していく。

■朝霞保健所 赤岩氏

在宅医療機関の新規参入を支援し、適正医療の提供をチェックする。医師会・薬剤師会・病院・市が出席する本会議において先駆的取組として広報活動を進めていく。災害医療体制整備も担当しており、情報共有をしていきたい。

■木下副室長

支援室への相談件数は大幅に増加しており、昨年度の分析では認知症関連の相談が特に多いことが明らかになった。複雑な相談や医療的対応が必要な場合は、室長・副室長を含め支援室でまず対応し、それ以上のものは医師会がサポートする体制を整える。

医師会では災害時対応に向け、近隣の医師会と連携協議を重ねている。また、医師会内に在宅医会を立ち上げ、ネットワーク強化を進める予定である。

■町田室長

地域には素晴らしい活動が多くあるが、どこで誰が何をしているのかわかりにくく、開催情報や参加方法が十分に伝わっていない現状がある。情報を集約し、整理していくことを目標とする。

また、少人数の委員だけで在宅医療・介護連携の事業を進めるのは困難であるため、医師会員に限らず、歯科医師、薬剤師、セラピスト、介護従事者など多職種が関わる体制を整えることを目標として、医師会内に在宅医会を立ち上げ、連携の旗印として活動に参加してもらう仕組みを構築していく。

議題（2）令和8年度 委員構成の変更について

事務局より資料に沿って説明。令和8年度より下記5名の増員を予定。

≪ 病院（入退院窓口） ≫

・埼玉病院 患者支援センター-地域医療連携・入退院支援専門職

・TMG あさか医療センター

・TMG 宗岡中央病院 退院調整担当

≪ 高齢者福祉施設 ≫

・朝霞地区介護事業者協議会 施設部会担当

≪ アドバイザー ≫

・埼玉県南西部消防局救急課

議題（3）その他

◆事務局より

令和8年度第1回朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議

【日 時】令和8年5月18日(月)15:30～17:00

【場 所】和光市総合福祉会館3階 会議室2